

スピーキング能力を育成する英語科学習指導

―帯活動におけるQ&Aシートの導入、スモールトークの活用―

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

加藤 愛

本研究実践では、中学校英語科において、コミュニケーションの場面で、自分の意見を伝えたり、相手の返答に応じて会話の内容を広げ、対話を継続させたりすることができる生徒の育成を目指した。そのために、帯活動におけるQ&Aシートの導入と、スモールトークの活用を手立てとした。また、検証では、実践の事前と事後に行なった英語の授業に関するアンケート、スモールトークの対話比較、ルーブリックを用いた生徒の自己評価の分析および考察を行なった。

まず、スモールトークの活用は、生徒自身がスピーキングでの課題を見つけること等に役立つという成果が得られた。また、Q&Aシートには、その見出された課題を解決するための練習を促す等の成果があった。課題としては、より長期に渡り継続的にQ&Aシートを用いた活動を行うことや、活動を活性化させるためのペアの組み方への配慮の必要性等が見出された。